

マーケットの動き（2025年8月4日～8月8日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。週初は、前週末に発表された米雇用統計が市場予想を下回り米国長期金利が低下したことを受け、国内長期金利は低下しました。その後は、持ち高調整の売りや日銀が8日に公表した7月の金融政策決定会合の「主な意見」が金融引き締めに積極的と受け止められたことなどから、低下幅を縮めて週を終えました。クレジット市場は、投資家の買いが引き続き既発債にも向かい、堅調に推移しました。

投資環境見通し（2025年8月）

国内長期金利に対する上昇圧力は続く

日米関税交渉が急展開で合意に達したことを受けて、景気の先行き不透明感は後退したとみられ、日銀は再び利上げに対する前向きな姿勢を示すとみられています。さらに政府による財政拡大政策が行われるとの見方が広がる中、米国では景気が鈍化するとの見方から長期金利が低下する可能性があります。国内長期金利に対しては上昇圧力が続くとみています。

	8月8日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.49	▲0.06	▲0.01	0.21	0.63
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	346.20	0.36%	0.03%	▲2.16%	▲4.46%

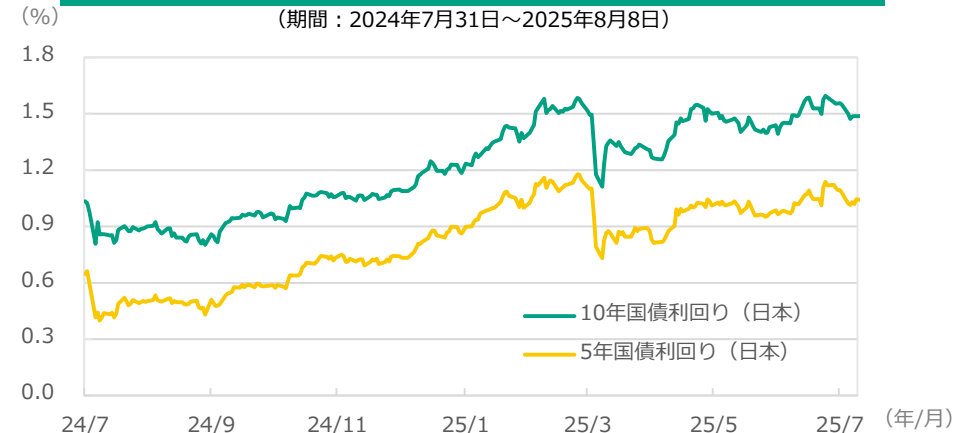
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202508_outlook.pdf

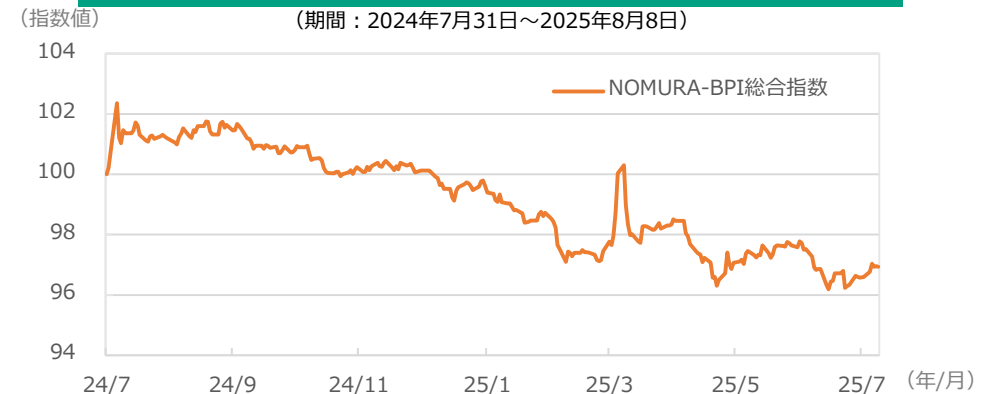
日本国債利回りの推移

（期間：2024年7月31日～2025年8月8日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年7月31日～2025年8月8日）



※2024年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>